

「視覚デザイン表現のオーソリティ」 から触発の学び

デザインの専門家以外の方にも是非知っていただきたい
わが国最高の、広告表現 & グラフィックデザイナーの“ワークス & ライフスタイル”

講師

浅葉克己氏

アートディレクター
浅葉克己デザイン室

日時

2015年7月25日(土)

講演会 17時00分～18時30分(開場:16時45分)
論宴会 18時40分～19時30分

会場

東京ミッドタウン
デザインHUBリエゾンセンター
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F
TEL: 03-6743-3776 <http://www.designhub.jp/access>



ASABA Katsumi

アートディレクター

日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA) 会長
桑沢デザイン研究所 所長
東京造形大学・京都精華大学 客員教授
国際グラフィック連盟 日本代表 ほか

1940年 神奈川県生まれ。
桑沢デザイン研究所、ライトパブリシティを経て、1975年
浅葉克己デザイン室を設立。アートディレクターとして、
日本の広告史に残る数多くの名作ポスター、コマーシャル
等を制作。
1987年東京タイプディレクターズクラブ(東京TDC)を設立。
代表作に、西武百貨店「おいしい生活」、サントリー「夢街
道」、武田薬品「アリナミンA」、長野オリンピック公式ポス
ター、民主党ロゴマークなど。
東京アートディレクターズクラブ賞グランプリ、毎日デザイ
ン賞、日本アカデミー賞最優秀美術賞など受賞多数。
2002年 紫綬褒章、2013年 文化芸術部門 旭日小綬章受賞。
日本卓球協会評議員、卓球六段。

戦後70周年と言われますが、連綿と続いてきた日本のグラ
フィックデザイン史の中で、天才的表現者である“浅葉克己”
の右に出る現役デザイナーはいないでしょう。

誰もが「あ、これは見たことがある」と自分史に照らして振り返る
名作の数々を、作者本人から解説付きで制作意図や背景を
知り学ぶことの楽しさと意義は、とても大きなものがあるはずで
す。彼の卓越した活躍の背景には、タイプフェイス(書体)の専門家
からデザインの道に入ったという経歴が大きく影響しています。
タイプフェイスこそあらゆる造形表現の源であり、コミュニケー
ション最大のツール(道具)であるからです。

浅葉氏は、広告や教育の世界で大きな実績を残し、受賞歴、
審査員歴、組織責任者歴も、まさに枚挙にいとまがありません。
こうしたおもてに見える部分の活躍ぶりを知る人は多いですが、
これを陰で支える本人の日々のたゆまぬ努力やライフスタイル
の実態は意外と知られていません。このたびの講演では、彼自身
の生きざまや人生哲学についても、ぜひ耳を傾けていただきたい
と思います。

(STRAMD主宰講師 中西 元男)

講座参加費 • 一般 3,000円 • 学生 2,000円
• 修了生 2,000円 • 受講生 無料
論宴会費 • 共通 1,000円

ご参加希望の方は、STRAMD公式ホームページよりお申し
込みください。

会場の都合により、定員となり次第締め切らせて頂きます。

●ホームページからのお申し込み

STRAMD 検索

●お問い合わせ: ワールド・グッドデザイン・STRAMD事務局

☎ 03-6426-5788